

失敗学 フォーラム 2025

オンライン開催
2025.11.28 金

集まれ！
失敗学ファン

上へ！上へ！



日科技連では、2007年に濱口哲也氏（元 東京大学 大学院特任教授）を講師として「失敗学と創造学セミナー」を開設、その後2018年に「失敗学実践編セミナー」を開設しました。それまでの「問題が起こった後だから言える結果論的対策」や「対策反転型原因分析」ではなく、「本人がリアルタイムで大丈夫だと思って行動したはずなのに、なぜ裏目ってしまったのか（失敗にゴールインしてしまったのか）」という「起承転結型原因分析」を学ぶことができる場として多くの企業に支持され、今日では業種・職種問わず多くの企業で失敗学を実践されるようになりました。

第1回を開催した昨年度は、「失敗に学ぶ」その思考と手法のエッセンスを凝縮した講演3件のプログラムで開催しました。今回は第2回となっており、失敗学の指導経験豊富な講演者を迎える予定で、講演も前回と同様に3件の企業実践事例に加え、濱口哲也氏による一問一答コーナーをお届けいたします。普段、セミナーの中ではなかなか聞けなかった質問にも付度なく、ズバズバお答えいただきます！

「すでに失敗学を導入している企業」はもちろんのこと、「これから失敗学を導入したいと考えている企業」あるいは「失敗学に興味をお持ちの企業」、原因分析のやり方に悩んでいる方、再発防止・未然防止が上手くできず苦慮している方など多くの方にとって参考になる年1回のイベントです。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2025年11月28日（金） 13時～17時（予定）

開催形態 ライブ配信（Deliveru）

参加費 通常申込 22,000円（会員）／ 24,200円（一般）＊税込
大口申込 550,000円／社（企業単位・人数制限なし）＊税込

お申込おはホームページより受付中！

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/subpage/478/3/1338>



詳細はこちら



【企業講演1】

「失敗学をもっと身近に ～生成 AI による分析支援の取り組み～」

福居真介 氏 NEC ソリューションイノベータ株式会社

失敗学って、セミナーや本で「役に立ちそう！」と感じる人は多いと思います。でも実際に起承転結型で分析しようとする、失敗行動やワナの表現、構造の整理が難しくて悩むこともありますよね。そこで今回ご紹介する「起承転結型分析ナビ」は、生成 AI を使って分析をサポートできないかを試して、今回のフォーラムで紹介させていただきます。

【企業講演2】

「失敗学を取り入れた再発防止と未然防止に向けた取り組み事例」

弊社の再発防止活動は、発生源・流出源の真因を特定し対策に繋げる活動を基本にしているが、結果論的な対策となる事に課題があると感じていた。そのような中、失敗学に出会い、「人の行動・動機的原因」に着目した再発防止、そして未然防止に繋げていく考え方に共感し活動してきた経緯と、ボトムアップで QC ストーリーと組合せながら取組んだ事例、新製品開発に活用する取組みについて報告する。



大野有起 氏

パナソニックハウジングソリューションズ社



藤枝真也 氏

パナソニックくらしアプライアンス社



多胡祐作 氏

パナソニックくらしアプライアンス社

【企業講演3】

「日鉄テックスエンジにおける失敗学活用の取り組み」

熊倉政宣 氏 日鉄テックスエンジ株式会社

当社は品質トラブルの低減を目的として2018年に失敗学を導入、濱口先生によるセミナーの受講や事例検討会のご指導により社内浸透を図ってきた。また、ワナ事例のミニ動画を作成し現場にてリスク抽出を行う活動などを行い2021年のクオリティフォーラムにて報告した。それ以降、当社のワナ事例の分類、失敗学社内教育の標準化、未然防止型QC活動との連携などに取り組んでいる。これまでの失敗学活用の取り組みについて報告する。



【Q&A】

「濱口氏による一問一答」



濱口哲也 氏 株式会社濱口企画代表取締役

コロナ禍後、リモートでセミナー・講演を行っており、質疑応答の時間が十分とれていない状況です。一問一答の時間では、「聞きたかったけれど聞けなかったこと」や「聞いてみたいこと」などの質問事項を事前に募集をし、限られた時間の中で忸度なく、ズバズバお答えしていきます。あっ、プライベートな質問は NG でお願いいたします笑。

【総合討論】

パネリスト : 講演者全員

モデレーター : 岩松 正治 氏

岩松正治 氏 AGC 株式会社



お問い合わせ先

一般財団法人日本科学技術連盟

品質経営推進センター 品質経営・SQiP・MS・QCC グループ (失敗学フォーラム担当)

TEL : 03-5378-1213 FAX : 03-5378-9842 E-Mail : quality-kensyu@juse.or.jp